

ご 挨拶

早稲田大学 産業経営研究所 所長、商学学院教授 高瀬 浩 一

早稲田大学産業経営研究所所長の高瀬浩一と申します。産業経営研究所、略して産研は、学術と実業の懸け橋となる機関として早稲田大学商学部、大学院商学研究科、会計研究科の教員を中心とする研究員が、ビジネスに関わる研究、研修支援、研究成果・研究フロンティアの発信・公開に務めております。これまで公開講演会を始め、春の産研アカデミックフォーラムと秋の産研フォーラムを定期的に開催してまいりました。今回、第25回産研アカデミックフォーラム「ブロックチェーンが切り拓く未来」を開催することになりました。皆様、ご参集いただき、誠にありがとうございます。

今回は、特に高度な内容を想定し、定員人数をあえて絞り、高い意識と一定以上の基礎知識を持った聴衆の方を前提にしています。皆さん、覚悟を持って臨んでください。

今回のテーマは、実は世話人である、私の同僚の佐々木教授との会話がきっかけとなりました。ある日、佐々木先生が私の研究室に来て「ビットコイン、仮想通貨の発想の原点って知ってる?」。それから「高瀬さん、知ってる? マイニングはね」「高瀬さん、知ってる? ブロックチェーンはね」。こういうのを何度も繰り返し、結局、「次の産研アカデミックフォーラムは仮想通貨でやろうよ。ブロックチェーンがあんまりにも面白いので、仮想通貨だけではもったいないからブロックチェーンとの2本立てにしましょうよ」っていうことで決まりました。

ちまたでは、ブロックチェーンはメディア一押しの話題だと思います。最近の日経新聞見開き1ページで、あるいはNTTのWeb特集で。日刊工業新聞電子版「ゴールドラッシュ前夜迎える。ブロックチェーン」。仮想通貨、ビットコインに至ってはバブル状態ですね。過熱する仮想通貨、投資セミナー、コイン取引所障害。ここで共通の疑問が皆さんにも湧いてきますよね。われわれは何を知っているのか。みんな、どこまで分かっているのか。このような点が今回のテーマになっています。

佐々木先生によるご講演者の地道なかつ着実な探索とご依頼、ご講演者との幾度とない打ち合わせを行って、金融企業、IT管理、暗号技術、電子商取引法のそれぞれの分野で最高の講演者を準備できました。講演者の皆様、ご所属先のご関係者の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

最後に、この場所です。大隈重信が在野の精神、学の独立を標榜し、早稲田大学を設立しました。建学の精神は130年以上、現在まで引き継がれ、この大隈記念小講堂の名前の由来ともなっています。権力や政権におもねることなく、可能な限りの情報提供と自由闊達な議論を、主催者側として保証したいと思います。

今日は日本と世界の経済社会の将来について、皆で考えていきたいというふうに思っています。今後も産研では、日本の金融政策、保険アクチュアリー、日中経済交流、企業経営など幅広いテーマについて公開講演会を開催、企画していきます。ご期待ください。

それでは、これをもちまして、あいさつと代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

2017年5月13日（土）